

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標3_経済・雇用】

施策 3-6_林業の振興

基本計画		事業番号	細事業名称
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06044_01	市民の森整備事業
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06104_01	東予流域林業活性化推進事業
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06195_01	森林環境保全整備事業補助金
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06248_01	放置竹林対策事業費補助金
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06268_01	森林経営管理事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06041_01	森林居住環境整備事業(森林基幹道開設事業)
3-06-02	林業生産基盤の整備	06183_01	林道保土野線開設事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06183_04	林道豊後線開設事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06184_01	別子山地区林道維持管理事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06242_01	林道維持管理事業補助金
3-06-02	林業生産基盤の整備	06255_01	別子山地区森林整備事業

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06044_01			
事業名(行目名称)		市民の森整備事業	細事業名	市民の森整備事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興				
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	117439			
	手段(どうやって)	老朽化した設備等の修繕、撤去や、撤去した設備等に替わる設備等を設置する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	老朽化した施設・設備を利用可能な状態にし、利用者の増加及び満足度を向上させるとともに、施設の有効利用、適正な管理を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	遊具更新費用		
経費		1,183	1,250	1,250	1,243			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,183	1,250	1,250	1,243			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
市民の森利用者			目標値	7000	7500	8500	8500	8500
			実績	9037	13507	5000	12225	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
遊具の更新が完了した。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
園内に設置している遊具の老朽化が目立ち、利用者に安全に使用していただくためにも、順次計画的に更新を実施していきたい。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
森林との触れ合いと、森林への学びの場を提供し、利用者が安全に、快適に利用できるよう適正な管理をすることができた。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06104_01		
事業名(行目名称)		東予流域林業活性化推進費	細事業名	東予流域林業活性化推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員:新居浜市)		数値	588人		
	手段(どうやって)	東予流域林業活性化センターの活動経費の負担。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	東予流域内の林業活性化の基本方針を検討するとともに、流域内の具体的な取り組みを総合的、計画的に推進することにより、多様な森林の整備、林業生産活動の活性化、産地形成等を図る。各種研修を通じて森林組合の職員のスキルアップをすることで、施業区域の拡大を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	活動経費の負担金 1,734千円	
経費		1,734	1,740	1,740	1,740		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,734	1,740	1,740	1,740		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
林業活性化対策事業数		目標値	5	5	5	5	5
		実績	5	5	2	4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
東予流域内の林業活性化に向けて事業を実施しているが、施業地域の確保に苦慮している。引き続き県及び、東予3市及び2森林組合等と連絡を密にしながら、施業確保に努めていく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
東予流域林業活性化センターについて、翌年度も引き続き東予3市による広域的な事業を展開するため、現状を維持する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
林業の担い手確保や作業道補修に関する事業については一定の効果が認められるが、東予3市に対して事業のメリットが行きわたっているとは言い難く、負担金額の妥当性も含め令和4年度に検討することとしている。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06195_01			
事業名(行目名称)		森林環境保全整備事業費	細事業名	森林環境保全整備事業補助金				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興				
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員:新居浜市)		数値	588人			
	手段(どうやって)	森林組合が国県の補助を受けて実施する間伐、下刈等の造林補助事業に対して上乗せ補助を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	間伐等の森林整備を適正に実施することにより、将来の木材生産における優良材を育てるとともに、国土の保全・水源かん養・自然環境の保全・地球温暖化防止等の公益的機能の高度発揮を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		3,151	4,100	4,100	2,992	森林環境保全整備事業補助金 4,100 (補助先:いしづち森林組合)		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		1,300	1,300				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	3,151	2,800	2,800	2,992			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
森林整備面積(搬出間伐等) ha			目標値	40	40	0	40	40
			実績	26.13	29.03	0	28.94	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続的な森林整備は必要であり、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても搬出間伐等の森林整備は必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続的な森林整備は必要であり、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても搬出間伐等の森林整備は必要であるため、森林整備を行ういしづち森林組合に対して継続して補助を行う。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続した森林整備が必要である。また、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても、搬出間伐等の森林整備は必要である。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06248_01			
事業名(行目名称)		放置竹林対策事業費	細事業名	放置竹林対策事業費補助金				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興				
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合員:新居浜市)		数値	588人			
	手段(どうやって)	活動組織が実施する森林整備等の活動に対し交付金を支出する地域協議会(愛媛の森林基金)に補助金を交付する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	山村地域の過疎化、森林所有者の高齢化等により適切に整備されていない森林の整備を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		475	475	475	410	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業費補助金 475 (補助先:愛媛の森林基金→うずい里山保全の会)		
財源	県・国支出金	237	237	237	205			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	238	238	238	205			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
放置竹林整備面積(ha)			目標値	5	5	0	5	0
			実績	5	5	0	5	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
竹林所有者の高齢化等により、適切な整備がされずに放置されている竹林が増加している。また、林業の担い手不足も問題となっている。(令和3年度予定:5.0ha)								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
平成25年度から国の交付金を受けている「うずい里山保全の会」が令和4年度より活動しない意向であり、活動を希望する組織がないため令和4年度の予算の要求は行わない。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
放置されている竹林について、適切な整備ができた。R4年度は活動を希望する組織がなかったため事業の実施はないが、引き続き活動組織の募集を続ける。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06268_01			
事業名(行目名称)		森林経営管理事業費	細事業名	森林経営管理事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興				
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	民有林のうち人口林		数値	約600ha			
	手段(どうやって)	市内の森林所有者に対して意向調査を実施し、市に森林の管理を委託希望する場合は、市と森林所有者が協定を締結し、市が間伐等を実施していく。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	放置され荒廃した民有林を市が整備することで、森林の持つ多面的機能を十分に発揮させる。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	941	941	811	現地調査委託料941千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	941	941	811			
	一般財源	0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
現地調査面積(ha)			目標値	0	0	8	8	8
			実績	0	0	4	7.89	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
森林所有者による管理が行き届いていない森林が多くある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
国から令和15年頃までに、意向調査を完了させ、森林整備を推進するように指導されているため、今後も計画的に事業を推進していく。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
現地調査結果をもとに、森林所有者と市とで森林の管理方法について検討し、今後の管理計画を記した「経営管理権集積計画」を定めることができた。令和4年度は当該計画に基づき市による適切な森林整備を実施する予定。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06041_01		
事業名(行目名称)		森林居住環境整備事業	細事業名	森林居住環境整備事業(森林基幹道開設事業)			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員)		数値	2,824人		
	手段(どうやって)	県営林道整備事業に対して事業費の10%を負担する。なお、県営事業の対象外である支障木除去等は市単独事業として行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	本基幹道は、両市の山間部に散在する集落及び林道・林業団地・森林景勝地等を選び林業労働力を有効に活用しつつ、広域化・組織化による生産性の向上と森林レクリエーションの機能発揮を図るほか地域の振興を図る。また、森林の持つ地球温暖化防止等の環境保全のため、利用区域内の森林の健全な森林整備を積極的に行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		5,000	7,000	12,000	11,500	県営林道整備事業に対して事業費の10%を負担する。	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	4,500	5,800	10,800	10,800		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	500	1,200	1,200	700		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
林道利用区域森林整備面積(ha)			目標値	7	7	7	7
			実績	34.9	8.2	1	1.8
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
角野工区について、延長予定である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
森林の持つ地球温暖化防止等の環境保全に寄与する公益的機能を十分発揮させ、また災害防止の観点からも、県の森林基幹道開設に対する負担金支出及び条件整備等について、継続実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
林道の開設が予定通り進み、林道沿線の森林整備に寄与することができた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報		事後評価	2021	06183_01		
事業名(行目名称)	別子山地区林道等開設事業	細事業名	林道保土野線開設事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興		
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	全体計画延長	数値	4,000m		
	手段(どうやって)	環境や生態系に配慮しながら低コストで安全な林道を整備し、林道整備による効果が最大限に発揮されるとともに、作業路等の整備により林道の利用が一層促進されるよう事業を推進する。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	事業開始時においては、従事者の高齢化等により山林は荒廃しつつあるため、林道網整備が急務となっている。林道網整備を行う事により、大型林業機械の導入や作業路の整備などを促進し、施業の集約化によるコストの削減や間伐材の搬出・有効利用により林家の所得の向上、担い手の確保を行い、森林資源の適正な管理を行う。				
III 投入費用						
実施年度	令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
		当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費	3,500	10,000	10,000	9,316	工事費9,000千円、設計委託料1,000千円 R2繰越8,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0		
	地方債	3,500	10,000	10,000		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	0	0		
IV 指標						
成果指標名(計算式)		令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
開設延長(m)	目標値	100	100	100	100	0
	実績	55.8	0	0	83.1	—
V 事中評価						
評価視点	妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等	事業の方向	現状のまま維持する				
計画的に開設工事を実施している。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)	予算の方向	現状維持				
財源を過疎債から国庫補助に乗り換えるために、R4では路網全体計画を策定し、新規の開設工事は実施しない予定である。R5で県と協議、R6から工事再開予定である。						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和3年度)	B:事業の進め方の改善検討				
現在は過疎債を充当して事業を実施しているが、補助金又は交付金を活用できないか検討する必要がある。						
事中評価	作成担当者	長谷川 幸司	最終評価責任者	山本 兼資		
事後評価	作成担当者	牧谷 和弘	最終評価責任者	桑内 章裕		

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06183_04		
事業名(行目名称)		別子山地区林道等開設事業	細事業名	林道豊後線開設事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全体計画延長	数値	2,500m			
	手段(どうやって)	環境や生態系に配慮しながら低コストで安全な林道を整備し、林道整備による効果が最大限に発揮されるとともに、作業路網の整備により林道の利用が一層促進されるよう事業を推進した。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	事業開始時においては、従事者の高齢化等により山林は荒廃しつつあるため、林道網の整備が急務となっている。林道網整備を行う事により、大型林業機械の導入や作業路網の整備などを促進し、施業の集約化によるコストの削減や間伐材の搬出・有効利用により林家の所得の向上、担い手の確保を行い、森林資源の適正な管理を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	10,000	10,000	3,900	工事費10,000千円	
財源	県・国支出金	0	5,500	5,500	2,145		
	地方債	0	4,500	4,500	1,755		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
開設延長(m)		目標値	0	0	100	0	0
		実績	0	0	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
災害復旧工事に日数を要するために、R3の開設工事については、R4へ繰り越す予定である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
大雨時の土砂流出を防止するために舗装工事を実施する予定であり、R4で詳細設計、R5,R6で舗装工事を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
災害復旧工事に不測の日数を要し、R3開設工事をR4に繰り越したため計画を1年順送りして事業を行う。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06184_01		
事業名(行目名称)		別子山地区林道維持管理費	細事業名	別子山地区林道維持管理事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区林道全路線		数値	全9路線		
	手段(どうやって)	林道施設の定期的な巡回点検等による計画的修繕及び維持管理					
	目的(どんな状態にしたいのか)	継続的かつ計画的な林道網の維持管理を行うことにより、林道利用者の利便を図るとともに自然災害等の被災を事前に防止する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,758	3,300	3,300	2,490	施設修繕料 1,000千円 委託料 2,300千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,758	3,300	3,300	2,490		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
維持・修繕件数(件)		目標値	10	10	10	10	10
		実績	4	7	3	6	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
除草業務については、委託料が毎年増加傾向にある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
人件費等の上昇により、今後拡大について検討する必要がある。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
除草業務については、委託料が毎年増加傾向にあるが、引続き事業を進めることが適当である。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06242_01		
事業名(行目名称)		林道維持管理事業費	細事業名	林道維持管理事業補助金			
総合 計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	森林所有者及び地域住民(延べ人数)	数値	69588			
	手 段 (どうやって)	森林組合が、市民の利用が多く生活道的な森林組合林道において実施する雑草刈り、側溝整備などの林道維持管理事業に対し、補助を行う。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	森林組合が管理する林道のうち、市民の利用が多く生活道的な林道の維持管理を行い、林道使用車両及び市民の通行等の安全を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,381	1,312	1,312	1,312	市補助金1,312,000円、 支出先:いしづち森林組合、草刈り・側溝清掃等費用	
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,381	1,312	1,312	1,312		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
補助対象路線利用区域森林整備面積		目標値	40	40	40	40	40
		実績	10.4	7.5	2	16.2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
補助金対象の11路線について、順次作業を実施している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
森林組合管理林道のうち市民の利用が多く生活道的な側面を持つ林道において、森林整備の推進のみならず、林業用車両、一般車両、地域住民の通行の安全を確保する必要があるため、今後においても補助規模・要件等について事業実施主体と協議・検討しながら事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
森林整備の推進及び、林業用車両及び一般車両、地域住民の通行の安全が確保できた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06255_01			
事業名(行目名称)		別子山地区森林整備事業	細事業名	別子山地区森林整備事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興				
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	別子山支所				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区市有林・銅山川北側面積(ha)		数値	1000			
	手段(どうやって)	接道状況のない銅山川北側の市有林について、隣接する住友林業社有林内の私設林道から新規の森林作業道を連結、延長し3年度間で市有林内へ到達させる。市有林到達後の4年度目からは、森林作業道開設と並行して市有林内の搬出間伐に着手する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	間伐等の適切な森林管理により、自然環境保全、水源涵養、土砂流失防備等の森林機能発揮を図り、森林所有者の責務を果たす。また、搬出材の有効活用(地域内木材加工センターへ搬入)により雇用の創出、地域活性化に繋げる。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		28,185	29,017	29,017	28,279	森林整備事業負担金 18,694千円 森林整備事業委託料 10,323千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	16,700	15,000	15,000	15,200			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	11,485	14,017	14,017	13,079			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
森林作業道の改良・新規開設延長(m)			目標値	830	800	980	980	0
			実績	830	800	630	933	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
令和4年度からの搬出間伐開始に向け、森林作業道の開設は、概ね計画通りに進捗している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
令和4年度からは、森林作業道の開設と並行して、市有林内で搬出間伐等の森林施業を開始するため、予算の拡大が必要である。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
令和4年度から予定している市有林内からの搬出間伐の実施に向け、計画どおりに森林作業道の新規開設・改良を実施した。(住友林業社有林内633m、市有林内300m)								